

「生命のがん教育」を実施しました

(令和5年2学期分)

令和5年2学期は57校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(恭仁小学校)



(嵯峨中学校)



(聖母女学院高校)

◎小学校 (11校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
8/29 (火)	京都市立小栗栖宮山小学校	5	京都第二赤十字病院 泌尿器科 宇都宮 匡徳
10/4 (水)	京丹波町立瑞穂小学校	6	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10/17 (火)	京都市立祥豊小学校	6	京都市立病院 緩和ケア科部長 大西 佳子
10/23 (月)	京都市立山ノ内小学校	6	京都市立病院 がん医療連携センター副看護部長 松村 優子
11/29 (水)	南丹市立園部第二小学校	6	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
11/29 (水)	木津川市立南加茂台小学校	6	京都府山城北保健所 医務主幹 森元 真梨子
12/11 (月)	亀岡市立詳徳小学校	6	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
12/12 (火)	京都市立百々小学校	6	京都第一赤十字病院 がん放射線療法看護認定看護師 桐谷 眞澄
12/14 (木)	木津川市立恭仁小学校	5・6	京都府山城北保健所 所長 重見 博子
12/15 (金)	京都市立藤ノ森小学校	6	京都医療センター がん診療部長 大谷 哲之
12/20 (水)	京都市立石田小学校	6	医仁会武田総合病院 副院長 賤間 正純

<児童の感想>

- ◇ 授業で学んだことは2人に1人ががんになることやがんは規則正しい生活習慣が予防することが分かったので、気を付けていきたいなと思いました。授業で学んだことを身近な人に伝えていきたいなと思いました。がんのことをいろいろ教えていただき、ありがとうございました。
- ◇ 毎日異常な細胞ができていたことが驚きました。がんには1/2の確率でかかり、丈夫な人でもかかるから、どんな人がかかってもおかしくないと思いました。疲れていてもポジティブな言葉を使い、笑ったりするだけでも免疫力がUPすることが印象に残りました。知ったことをみんなに発信して、知らせたりもっと深め

たりしようと思いました。また、大人になったときにがんについて思い出せるようになりたいと思いました。遠いところから、がんのことを教えるために来てくれて、ありがとうございます。これから生活習慣をよくして過ごそうと思いました。

- ◇ 2人に1人ががんになると知って、驚いたし怖いなと思った。だけど、がんを早く見つけたら治るから思っているだけではなくてすぐに行動しようと思った。しっかり検診しているか確認したり、していなかったら検診をお勧めしようと思う。知らないことばかりで驚きました。忘れないうちに行動してみようと思います。
- ◇ 早くに見つけたほうが、がんになっても治る可能性があるということです。見つけるには、定期的に検診に行くのがいいと思いました。できるだけ規則正しい生活をしようと思いました。
- ◇ わたしは生命のがん教育でがんが発見される大きさになるまでに10年～20年ぐらいかかることを知りませんでした。この授業でがんの怖さがよく分かりました。そしてこの授業で学んだ事を忘れないようにしたいです。私は、生命のがん教育で学んだ事を家族や従妹にもしっかり話して、みんなですっきりがんにならないために自分たちの生活習慣を見直そうと思います。
- ◇ 誰もがんになること。定期的に検診行こうと思いました。
- ◇ 初めてがん患者さんからお話が聞けたことです。やっぱり体験したことがある人にしか分からないことがたくさんあると思います。そのお話の中で、周りの人が助けてくれたことが印象深いです。私も誰かの心を少しでも支えられる存在になれたらいいなと感じました。
- ◇ がんが見つかった後に楽しく過ごすようにしたというところで、自分もがんが見つかったとしたら、元気になるようなことをしようと思いました。
- ◇ がんのもとになる異常な細胞がたくさんできていることと、免疫力によってがんを抑えていることが印象に残りました。
- ◇ がん細胞が1つでもできると増えていくのが意外だった。少ないほどすぐ消えると思っていた。男女によってなる場所など違うのが驚いた。子宮頸がんのワクチンを打ったほうがいいと思ったから、お母さんに相談したほうがいいと思った。

◎中学校（17校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
9/26（火）	木津川市立泉川中学校	2	京都府山城北保健所 所長 重見 博子
10/3（火）	京田辺市立田辺中学校	2	京都府山城北保健所 所長 重見 博子
10/16（月）	京丹後市立丹後中学校	3	京都府立医科大学附属北部医療センター 外科医長 濱田 隼一
10/16（月）	京丹後市立弥栄中学校	3	京都府立医科大学附属北部医療センター 副病院長 黒星 晴夫
10/25（水）	京都市立京都御池中学校	3	京都市立病院 放射線治療科医長 平田 希美子
10/27（金）	宇治市立東宇治中学校	3	京都府山城北保健所 医務主幹 森元 真梨子
10/30（月）	京都市立蜂ヶ岡中学校	2	三菱京都病院 副院長 吉岡 亮
11/6（月）	京都市立洛南中学校	2	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
11/21（火）	舞鶴市立白糸中学校	2・3	舞鶴医療センター 乳がん認定看護師 四方 文子
11/21（火）	舞鶴市立青葉中学校	3	舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 森 景子
11/24（金）	京都市立嵯峨中学校	2	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
11/27（月）	宮津市立宮津中学校	2	京都府立医科大学附属北部医療センター 消化器内科医長 尾松 達司
12/1（金）	舞鶴市立和田中学校	3	舞鶴医療センター 緩和ケア認定看護師 小谷 由美
12/4（月）	八幡市立男山第三中学校	2	京都府山城北保健所 医務主幹 森元 真梨子
12/5（火）	相楽東部広域連立和束中学校	3	京都府山城北保健所 所長 重見 博子

12/5 (火)	京都市立西京高等学校附属中学校	1・2	京都大学医学部附属病院 産科婦人科 准教授 濱西 潤三
12/7 (木)	京都市立高野中学校	1	京都鞍馬口医療センター 副院長 山下 哲郎

<生徒の感想>

- ◇ たばこの副流煙をあまり吸わないようにしようと思いました。
- ◇ がんは1人で頑張るものではなく、周りがサポートすることでがん患者の方はそれが励みになると知って、身近な人ががんになったら全力でサポートしようと思った。
- ◇ がんという病気は誰でもなる病気で、早く発見して治療することが大切だということが分かりました。そして、その前に規則正しい生活を心がけたいです。
- ◇ 今回の授業でがんへの恐怖心が少しなくなって、誰でもなる病気なんだと理解が深まった。自分の大切な人や自分がこれからも健康でいられるように声をかけたい。
- ◇ がんは他人事ではなく、2人に1人という誰にも起こりうる病気だと分かりました。姉や親などに、がん検診の大切さについて伝えたい。
- ◇ 命の大切さを理解できました。僕も大人になったらがん検診を受けたいなと思いました。
- ◇ がんに対する自分の考えが変わったような気がしました。大体のイメージだけで想像していたから、正しいことが知れて良かったです。正しい理解について話し合いたいです。
- ◇ 今までがんは自分には全く関係ないと思っていたけれど、本当は自分や周りの人にとってもすごく関係があることだったんだと感じました。今からでもできることを頑張りたいです。
- ◇ 今回の学習を通して、がんが起る原因や進行の速度などを初めて知りました。今後の人生において、がんになるかもしれないので、今回学んだことを活かして生活したいです。
- ◇ どんなに健康に過ごしていたとしても、がんにならないわけではないんだと知ったから、大人になった時に、定期的にごがん検診をしたいなと思った。日々の生活習慣を、規則正しくしたいなと思った。
- ◇ 身近な病気だからこそ今から生活をもっと気を付けたいし、身近な人へ検診などをすすめたいです
- ◇ がんのことで、たばこを吸うと男性も女性も3倍~4倍ぐらいがんになる確率が上がると聞いてとてもびっくりしました。自分も大人になったらたばこは吸いたくないし、お酒などもなるべく控えていきたいと思いました。これからは自己管理もしっかりしていきたいです。
- ◇ 今回の話を聞き、誰にでも起こり得る身近な病気だと理解した。2人に1人がなる時代で気を付ける事は生活習慣を整えて健康に過ごす事だと思った。最近は部活も引退し運動をしていなかったり、寝不足なので気を付けたいと思う。
- ◇ 命の大切さが分かったし、普段できることが全て当たり前ではないことがよく分かったので、もっと1日を楽しんだり、頑張ろうと思いました。がんは身近にあり、誰でもなり得るので、日常生活を気を付けていこうと思いました。
- ◇ がんはがん細胞がどんどん増えてがんになる事が分かった。自分の生活習慣を見直して運動、食事、睡眠をしっかりしていきたい。家族や身近な人々にがん検診を勧めて、声掛けをしようと思いました。
- ◇ がんにも、もし自分になった時の周りの人の支えは、心の支えにもなるということと、もしも私の周りの人がなくなってしまった場合は、私が支える立場になれるようにしたいです。普段から、睡眠をとるなどの規則正しい生活をもっと心がけて、向上させていきたいと思いました。
- ◇ 自覚症状がないと知り、毎年検査に行くことが大切だと思いました。少しでもおかしいなと思ったら(つていうか思う前に)病院に行く(行かせる)ようと思いました。

◎高等学校 (29校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
8/28 (月)	京都市立鳴滝総合支援学校	1・2・3	京都民医連中央病院 腫瘍内科医長 ファムグエン・クイー

9/14 (木)	京都府立北陵高等学校	1	京都府立医科大学教育センター 特任教授 曾和 義広
9/20 (水)	京都聖母学院高等学校	1	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 春里 暁人
9/22 (金)	京都府立洛東高等学校	1	【動画併用方式】
9/27 (水)	京都府立綾部高等学校	1	【動画併用方式】
10/3 (火)	京都市立京都奏和高等学校	1	京都医療センター がん診療部長 大谷 哲之
10/5 (木)	京都府立山城高等学校	1	京都鞍馬口医療センター 副院長 山下 哲郎
10/6 (金)	京都府立京都八幡高等学校北キャンパス	1	【動画併用方式】
10/11 (水)	京都共栄学園高等学校	1	【動画併用方式】
10/11 (水)	京都府立海洋高等学校	1	【動画併用方式】
10/12 (木)	京都府立盲学校	1・2	京都府健康福祉部健康対策課 技師 中村 寛子
10/12 (木)	京都市立東山総合支援学校	1	京都府立医科大学教育センター 特任教授 曾和 義広
10/13 (金)	京都府立東舞鶴高等学校	1	舞鶴医療センター 外科系診療部長 熊野 達也
10/17 (火)	京都府立京都八幡高等学校南キャンパス	1	京都府山城北保健所 所長 重見 博子
10/18 (水)	京都府立農芸高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
10/26 (木)	京都府立嵯峨野高等学校	1	京都民医連中央病院 副院長 川島 市郎
10/27 (金)	京都府立洛西高等学校	1	京都桂病院 副院長 西村 尚志
11/1 (水)	京都府立綾部高等学校東分校	1	【動画併用方式】
11/8 (水)	京都府立久御山高等学校	1	京都府山城北保健所 所長 重見 博子
11/10 (金)	京都国際中学高等学校	1	京都第一赤十字病院 臨床腫瘍部長 内匠 千恵子
11/14 (火)	京都西山高等学校	1・2・3	京都済生会病院 がん看護専門看護師 山本 正彦
11/15 (水)	京都府立田辺高等学校	1	京都府山城北保健所 医務主幹 森元 真梨子
11/16 (木)	京都府立福知山高等学校	1	市立福知山市民病院 血液内科医長 西山 大地
11/17 (金)	京都府立清新高等学校	1	京都府立医科大学附属北部医療センター 診療部長 堅田 和弘
11/20 (月)	京都府立綾部高等学校東分校定時制	1・2・3	綾部市立病院 泌尿器科 西垣 遼
12/6 (水)	平安女学院高等学校	1	京都第二赤十字病院 外科医長 氏家 和人
12/6 (水)	京都府立須知高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
12/15 (金)	聖カタリナ高等学校	1	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
12/15 (金)	京都府立桃山高校定時制	1	【動画併用方式】

<生徒の感想>

- ◇ たばこの煙も避ける。バランスのよい食事をする。適度な運動をする。
- ◇ 私は、HPVのワクチンをうつかどうか迷っていましたが、今回の話を聞いてうちたいと思いました。
- ◇ がんは身近なもので、誰でもなるものだとして学びました。早期発見をすることで治る確率が高くなることを知りました。私が大人になったら、健康診断とがん検診をどちらも受けるようにしたいです。
- ◇ 10年や20年かけて1cmになるというのは印象に残った。偏った食事はやめようと思った。
- ◇ がんは2人に1人がなると知って、とても身近な病気と知って驚いた。がんができて初期は自覚症状がないから、大人になって定期的に検診をして早期発見ができればいいなと思った。今のうちから規則正しい生活を意識して、少しでもがんになりたくらいにしたいと思った。
- ◇ がんは早期発見がいい。がんになる人の割合が高くてびっくりした。生活習慣を見直して検診を受ける。
- ◇ がんは、予防に努めてもやはりなってしまうことがあるので、早期発見・早期治療の大切さが分かりました。自分の中での健康意識が高まったとてもいい話だったので、これからも今日の学びを心がけていきたいです。
- ◇ タバコがガンになる確率が上がることは知っていたけど、吸った人だけでなく周りにも被害が出ることを知

って、将来タバコを吸わないようにしようと思った。また、実際に癌になった人に話を聞いて、その人の思いや大変だったことを知れて良かった。

- ◇ 生活の質の違いが免疫機能を左右すると思った。知識を持っておくことが大切。
- ◇ 日本人の2人に1人はがんになることは、以前から知っていましたが、改めて多い割合だと感じました。自分も大人になったら、定期的に病院に行くようにしたいです。僕の場合は身近な人に胃がんになった人がいますが、見ていると、「これが食べられない、あれも食べられへん」と、縛りのある食生活になっていますが、「これ食べられないなら、材料を変えてこういうのにしてみたら？」みたいに、プラス思考になるような声かけをしたいです！
- ◇ がんには様々な種類があり、たくさんの治療法で対処することや、早期発見や早期治療をすることの大切さを知れました。この授業で学んだことを活かして、自分の体と人の体にも気を付けたいです。自分の体と人の体にも気を遣って、禁煙、禁酒も気を配っていきたいです。
- ◇ 自分の大切な人にもがんのことを知ってほしいと思いました。
- ◇ 実際にがんを体験された方のお話を聞いて、日頃からがん検診に行くことの大切さを改めて感じました。他にも、家族や友達からの支えは、自分の心の支えになると思うし、もし自分が相談される側になったら、相手の気持ちに寄り添えるようになりたいなと思います。
- ◇ 普段遅くなることや、食生活がバラバラなことが多いので、正していこうと思いました。
- ◇ がんについて、どれほど検診が大切なのかや、どれほど身の周りの人が大事なのが分かった。
- ◇ 自分ががんになった時に、いかにがんに向き合えるかが本当に大事になってくると思うので、まずはしっかりと検診に行く、周りの人に頼れるようになりたいです。
- ◇ タバコは吸わないでおこうと思いました。もし誰かが患ってしまったら支えて、自分が患えば一人で抱え込まない。友達を大切に作る。
- ◇ がんは細胞のコピーミスでなるのがびっくりした。たばこを吸ったりするとがんになったりするのでたばこの煙を吸わないようにする。がんは怖いなと思った。
- ◇ 今まで何度もがんについて教えてもらったことがあるけど、一番分かりやすかったし、実際体験した人の話も聞けたのでよかったです。親や祖父母に絶対に検査してもらえるように伝える。
- ◇ 大人になったら定期的ながん検診に行こうと思えるきっかけになりました。
- ◇ がんになるのは誰でもありえるので、なってしまうても自分を責めたりしないようにしようと思いました。周りの人ががんになったら優しい言葉遣いを心がけたいです。大切な人と自分のため、今回の話を頭の片隅に置いておきます。
- ◇ 印象に残ったことは、「がん」は2人に1人がなるということと、大人になったら検診に行くことが大切だということです。これからは、自分に出来ることを進んでやっていきたいなと思いました。
- ◇ 子宮頸がんについてです。最近周りの友達でもワクチンを受けている子が多くて、身近な話題だったので印象に残りました。今まであんまり受けようと思ってなかったけど、将来のことを考えると受けた方がいいのかなと思いました。
- ◇ 2人に1人がんにかかるって聞いて、がんって思っていたより身近な病気だと思った。早期発見、早期治療をすることが大事だと知った。一度、家族のみんなに話をしようと思った。
- ◇ 規則正しく、睡眠時間をとりたかったです。
- ◇ ガンは誰でもなるということは知っていたけれど、2人に1人の確率でなるということは知らなかったもので、すごく驚いたし怖いと感じた。ガンになった時、周りに支えてくれる人がいたり、相談できたりする場所があるのは、患者にも周囲の人にも安心を与えらると思った。
- ◇ がんは2人に1人がなるくらい、発病する可能性が高いのが学べた。たばこを吸わないなど、対策をしてもなってしまう病気だから、早期発見・治療が大切なのが分かった。食事や睡眠など生活習慣をよくする。ス

トレスをため込み過ぎないのが大切。自分の家族には、がん検診に行って、早期発見・治療する事が大事だと伝える。

◇ 自分のためにも周りの人にもがんについて理解を深めようと思った。

◇ たばこを吸った肺の見た目に驚きました。大人になったらたばこは吸わないようにしたいと思います。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4973 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp